

令和2年度行政事業レビューシート (内閣府)											
事業名	交通動態の変化に対応する道路環境創出事業			担当部局庁	沖縄振興局			作成責任者			
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	令和4年度	担当課室	参事官(振興第一担当)			安邊 英明			
会計区分	一般会計										
根拠法令(具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法			関係する計画、通知等	沖縄振興基本方針(平成24年5月内閣総理大臣決定)						
主要政策・施策	沖縄振興			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	住民や観光客にとって快適な道路環境を実現するため、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言等前後の交通動態の変化を調査・分析し、公共交通への転換など渋滞緩和に向けた取組等を推進することを目的とする。										
事業概要(5行程度以内。別添可)	①働き方改革に伴う新たな交通行動を踏まえた公共交通利用等促進調査、②コロナ対策を踏まえた安全・快適なバスのあり方調査、③①②を支援する道路空間検討、④公共交通利便性向上に向けたバスタプロジェクト検討、⑤魅力的な沿道景観の創出検討。										
実施方法	委託・請負										
予算額・執行額(単位:百万円)			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求				
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	100				
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
		予備費等	-	-	-	-					
	計		0	0	0	0	100				
	執行額		-	-	-	-					
	執行率(%)		-	-	-	-					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!					
令和2・3年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目		2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由						
	交通環境等改善調査委託費		-	100							
	計		-	100							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標年度	目標最終年度
							-	-	-	-	-
							-	-	-	-	-
						%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)											
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載										チェック	
定量的な成果目標の	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標			定性的な成果目標と平成29～令和元年度の達成状況・実績							
	交通渋滞の緩和や魅力的な沿道景観の形成等に向けて、今後取り組むべき施策の検討及び調査を目標としているため。			住民や観光客にとって快適な道路環境を実現するため、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言等前後の交通動態の変化を調査・分析し、公共交通への転換など渋滞緩和に向けた取組等を推進することを目的とする。							

設定が困難な場合	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	実績	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標	目標最終年度	
		交通渋滞の緩和や魅力的な沿道景観の形成等に向けて、今後取り組むべき施策の検討及び調査							調査等の実施及びとりまとめ報告書の件数	-年度	4年度
				件	-	-	-	-	-	-	-
				目標値	件	-	-	-	-	-	4
				達成度	%	-	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			実績	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	3年度活動見込	
	調査等の実施								件	-	-
				当初見込み	件	-	-	-	-	4	
単位当たりコスト	算出根拠			単位当たりコスト	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
	交通渋滞の緩和や魅力的な沿道景観の形成等に向けて、今後取り組むべき施策の検討及び調査費用から単位当たりコストを算出 X:執行額/Y:調査数								百万円	-	-
				計算式	百万円/件	-	-	-	-	-	
生計画・財政との関係	政策評価	政策	12.沖縄政策								
	施策	12.沖縄振興に関する施策の推進									
事業所管部局による点検・改善											
国費投入の必要性	項目				評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	新型コロナウイルス禍収束後の沖縄振興を見据え、住民のみならず観光客にとっても快適な道路環境を実現することにより、深刻な交通渋滞の緩和や魅力的な沿道景観を形成するための取り組み等を推進するものであり、国民や社会のニーズは高い。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	本事業は、全国的な知見を踏まえ実施する必要があり、また、民間事業者の自発的な取り組みに委ねる性質のものでもないため、効率性の観点からも国が率先して実施する必要がある。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	新型コロナウイルス禍収束後の沖縄振興を見据え、住民のみならず観光客にとっても快適な道路環境を実現することにより、深刻な交通渋滞の緩和や魅力的な沿道景観を形成するための取り組み等を推進するものであり、優先度は高い。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				-						
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。										
	競争性のない随意契約となったものはないか。										
	受益者との負担関係は妥当であるか。				-						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				-						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-						
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				-						
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-							
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-							
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				-							
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				-						
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				-						
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				-						
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				-						
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				-						
	所管府省名	事業番号	事業名								

点検・改善結果	点検結果	
	改善の方向性	

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年度 -	平成23年度 -	平成24年度 -	平成25年度 -
平成26年度 -	平成27年度 -	平成28年度 -	平成29年度 -
平成30年度 -			
平成31年度			

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

